

ちょっと知っ得、東かがわ市



○白鳥コミュニティ協議会設立準備委員会 発足!

白鳥小学校区でコミュニティ協議会を作ろうと設立準備委員会が発足されました。平成30年4月1日設立を目標に自治会区長をはじめ多くのメンバーが集まり話し合いを続けています。湊保育所や白鳥小学校の跡地活用、地域福祉や地域防災などをはじめ「地域で出来ることを地域で考え、みんなで取り組んでいく」ことを目標にしています。現在活動中、または白鳥のように設立に向けて話し合いを始めたエリアが増えてきました。

○三本松駅前の駐車所場が工事のため一時使用中止に

前回お知らせした三本松駅前の市営駐車場ですが、現在「さんぼんまつひとの駅」建設に伴う工事着工のため使用が出来なくなっております。また工事が進めば改めて利用できる予定です

○とらまる公園グラウンドにネットと夜間照明が付きました。

とらまる公園南側のグラウンドにネットと夜間照明が設置されました。冬季など暗くて使用しにくい事もりましたが、今後は安全に利用が出来ます。料金は全面3,000円(1時間)、半面が1,500円(1時間)となっております。

○若者定住促進の補助率アップ!

40歳以下の若者が新たに住宅を取得(新築、建売または中古住宅の購入)した場合、最大で上限100万円の補助(取得費の5%)がありました。今回の改正で平成30年4月1日より取得費の10%まで認められることになりました(上限は変更なし)。

○免許証自主返納者に1万円分のありがとう券を!

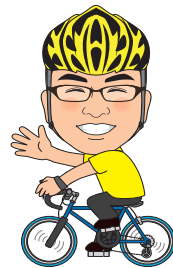
平成30年1月より、65歳以上の方が運転免許証を自主返納した際、奨励金として『ありがとう券1万円』が交付されることになりました。自主返納を申し出た方のみ対象で、自然消滅(更新をしなかった等)は対象となりませんのご注意ください。

○福栄やまびこ園が閉園に

少子化のため、平成30年3月をもって福栄やまびこ園が閉園の方向で協議が進んでいます。

○引田地区の飲食店で「風まち食へんろ」がスタート!

平成29年12月22日から、平成30年5月31日まで、引田地区の飲食店を中心とした20店舗でスタンプラリー(風まちネット主催)が始まりました。掲載店でスタンプカードがもらえますのでご利用ください。3店舗達成した方は抽選でキャビアなど豪華賞品も当たるとの事です。(私のホームページでも紹介しています)



○早朝に国道に立つ黄色い服の男!?

毎週月曜日6時40分~7時半頃(冬は7時頃開始)に国道11号に立って朝の街頭挨拶を続けています。2015年3月からスタートして、県外出張など地元にいらない時を除き毎週欠かさず実施しています。湊川のセブンイレブンから川を越して少し進んだところに立っています。早い時間帯ですが見かけたら応援いただければ幸いです。挨拶をしているところが少し広がっていることから、地域の人に「大ちゃん広場」と名付けて頂きました^^



山口だいすけの

だいちゃん通信

2018年新春 市政レポート 8号



発行:山口だいすけ後援会

〒769-2701 東かがわ市湊1104-3

電話:0879-25-0575 FAX:0879-25-9927

携帯:090-9456-3715

URL : <http://daisuke.yamaguchi.jp/>

e-mail : info@daisuke.yamaguchi.jp

Facebook : [fb.com/daisuke.hkagawa](https://www.facebook.com/daisuke.hkagawa)



Facebook は毎日情報更新中!

ご挨拶

日頃よりお世話になり、誠にありがとうございます。今年は例年に比べ寒い日が続いています、お風邪などひかずに過ごされているでしょうか?

早いもので市議会議員に当選させていただいて3度目の新年を迎えることとなりました。残すところあと1年少し。そこで今回は最初にたてた公約と、これまでの経過を振り返り、結果と反省すべき所、今後の目標をまとめてみました(中面参照)。これからも初心を忘れず、志をもって市議会議員の活動に邁進していきたいと思ひます。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

行政視察報告

平成29年度は下記の場所で様々な視察・研修を行いました。ただ見るだけでなく、視察地で学んだ事を一般質問や所属する委員会で活用しています。詳細については、市議会のホームページで報告書を公開していますので、ぜひご覧ください。

- ・みのりの丘ジビエセンターについて(山口県下関市)
- ・中一貫教育について(大阪府守口市)
- ・スポーツ観光推進事業について (三重県志摩市)
- ・自治体決算の基本と実践~行政評価を活用した決算審査~(滋賀県)
- ・自治体予算を考える(滋賀県)
- ・定住促進奨励補助金助成事業(長崎県雲仙市)
- ・包括ケアまちなかラウンジについて(長崎県長崎市)

議員あるある



市内で見かける議員の名前が書かれた看板。実は枚数や掲示できる期間や場所が決まっています。設置の際は選挙管理委員会へ申請し、受理した許可シールを看板に貼る事になっていきます。最新版は黄色のシール。もし目にしたときは「これがそうか」と眺めてみてください。

「こんな事聞いていいのかな?」そう思わずにお気軽にご連絡ください。市民一人一人が主人公。市のなんでも相談役が僕の目指す議員の姿。みんなで一緒に考えて住みよい町にしましょう^^



福祉のプロが市民と一緒に考える 東かがわ市の福祉と子育て支援



「少子高齢化」「過疎地認定」…東かがわ市は今のままでは消滅する可能性があるそうです。どれだけ行政が消滅を阻止するために設備やサービスを導入しても、連携がうまく続かなければ長続きはしません。
「本当の課題は現場に行かなければ分からない」「事実は机上ではなく現場にある」
その為に私は走り続けます！

- ☆現場の声を取り入れた地域福祉の充実
- ☆魅力的なまちづくり
- ☆安心して子育てができる環境の創造
- ☆縦割りから横の繋がりを強化へ

プロフィール 昭和50年3月生まれ 白鳥中学校、三本松高校、四国学院大学卒業後、地元の老人施設に就職。現在は、独立型のケアマネジャーとして活動中。東かがわ市居宅介護支援専門員等連絡協議会、東かがわ市幼稚園PTA連絡協議会で会長をつとめるなど児童・地域福祉の第一線で活動を続けてきました。また特技のカンフーや太極拳、パルレーンアートに加え、姿勢科学・子ども身体運動発達指導士等のスキルを活かし自治会サロン活動での講演、教育機関での家庭教育学級講師、地域イベントでのステージ企画や発表を行うなど地域活動にも参加しています。

「投票したってどうせ変わらない」
この言葉は本当だろうか？実際に行動し、考えた結果出た結論は「投票に行かないと、より悪くなる」でした。その理由はブログや演説会で取り上げたいと思います。



山口
だいすけ
無所属

現役ケアマネジャー
40歳

上の内容を皆さんは覚えているでしょうか？これは市議会議員に立候補した時、選挙公報に掲載した私の公約です。議員になったら取り組みたいと考えたものが次の4点でした。

- ①現場の声を取り入れた地域福祉の充実
- ②安心して子育てができる環境の創造
- ③魅力的なまちづくり
- ④縦割りから横の繋がりを強化へ

「事実は机上ではなく現場にある」この思いを中心に、今も自転車で市内をまわり、現場を見て、話を聞くよう取り組んでいます。それらの声をもとに、一般質問や担当所管との調整を行ってきました。新年を迎えるにあたり、これまでの成果と反省、そして来年に向けての目標をたててこれからもしっかり取り組んでいきたいと思っています。

【結果】

一般質問については右のとおりです（タイトルの丸数字は公約の丸数字を指します）。定期的に質問を繰り返すことで、行政側の進捗度合いを確認し、新しい提案や課題対策を行うよう工夫して質問を組み立てています。専門分野である、高齢者支援については予防、介護の側面から大きな働きができたと感じています。また調剤薬局や地域で活動する団体の活用を提案するなど、あらたな連携の確立にも焦点を当てネットワークの構築に取り組んでいます。横の連携についても行政内、官民連携など取り組んできました。

【反省点】

福祉については高齢者が中心となっており、他の福祉施策について取り組みが十分できていませんでした。子育て環境については、学校に関するテーマが多く、乳幼児や育児の支援施策への取り組みといった質問が来ていませんでした。

【来年の目標】

強味についてはこれまで同様声を上げつつ、平成30年は、反省点で書いた取り組みにも挑戦していきたいと思っています。また30,000人を切った東かがわ市の人口減少対策として、大胆な施策の打ち出しを市長に求めるよう提案や質問を行っていききたいと思います。

※2015年の選挙で配られた全員の選挙公報は「<http://daisuke.yamaguchi.jp/?p=436>」から確認ができます。

【平成27年6月定例会】

- ①④介護予防・日常生活支援総合事業について
→専門課の創設を提案。後に介護保険課が創設。
- ②安心して子育て環境について
→小児科などの充実を提案。広域連携が必要なため実施が難しいという答弁を受ける。

【平成27年9月定例会】

- ①災害時におけるベトとの同行避難について
→啓蒙パンフレットの配布や、広報誌で周知が決まる
- ①④福祉避難所の設置・避難について
→この時は十分な回答は得られなかった。今後継続して取り組む課題となる。

【平成27年12月定例会】

- ①介護高齢者における支援対策について
→福祉用具購入や住宅改修を立て替え払いではなく本人負担のみで出来るよう制度改正を実現する。
- ③観光地として満足度を充実させるトイレ活用について
→引田小学校跡地のトイレ設置を要望。後に引田多目的施設に併設する形でトイレが建設される。

【平成28年3月定例会】

- ②学校再編等について
→白鳥の新しい学校がどうなっていくのかを質問。この質問後、新しい学校づくり協議会が設立し、話し合いが進んでいく事になる。
- ②地域を活性化させる公園整備事業実施について
→新しい公園の設置は困難という回答を受ける。対応策として地域コミュニティ協議会としての実施なら可能だと答弁を受ける。
- ③市webサイトの利活用について
→いつ更新しているかわからなかった市のHP。この後RSSが設置され更新が容易にわかるようになった。

【平成28年6月定例会】

- ①④福祉避難所の十分な活用について
→福祉施設での避難訓練を求める。半年後県内初となる施設との合同訓練が実施される。
- ①④災害発生における予防並びに支援体制について
→避難所管理者の役割について質問。備品の迅速な配備などを求める。

【平成28年9月定例会】

- ③観光資源としての遍路道の有効活用について
→世界遺産を目指す遍路道の再確認を求める。その結果本来の遍路道が登録されるよう市から県に修正を求めることになった。

【平成28年12月定例会】

- ①地域コミュニティ活性化の推進について
→備品台帳の整備や資材の共有利用が図れるよう。提案。あわせて行政支援の必要性をとく。
- ①④介護予防・日常生活支援総合事業における地域連携について
→地域ケアシステム構築に向け、地域団体と連携するよう提案する。介護予防の充実に向け地域コミュニティ協議会や、スポーツ推進委員との連携が始まる。

【平成29年3月定例会】

- ③地元に着用を持てる特別表彰制度の創設
→新しい制度作成を求めたが、既存の表彰で対応するとの答弁を受ける。
- ③社会体育施設等の今後について
→施設廃止に伴う新たな使い方について提案する
- ②人と動物との調和のとれた共生社会づくり
→動物保護活動への取り組みを提案。その後市内イベントで啓蒙活動を行うなど取り組みが進んでいる。

【平成29年6月定例会】

- ③自転車活用促進法施行に伴う当市対策について
→自転車による交流人口促進に向け、サイクルステーションの整備を求める。本年度設置に向け計画が始まる。
- ②中学校部活動の休養日増加を
→勉強や社会参加の機会を持てるよう部活動休日を増やすよう提案する。

【平成29年9月定例会】

- ①地域ニーズ充足を考えた総合支援事業の在り方について
→形だけの開催になっていた事業の見直しを求める。次年度より見直しが行われる予定。
- ③④外郭団体等への市の関与の在り方について
→ニューツーリズム協会の組織見直しを求める。現在の法律上は民間だが、実態が限りなく行政であることを是正し、民間の良さを引き出すよう質問する。その後組織見直しが行われ、平成29年度末をもって解散となる。

【平成29年12月定例会】

- ①④福祉避難所運営マニュアルの作成について
→避難対象となる人数が初めて公式表明される。約1800人が避難対象者となる。
- ①引田多目的施設のあり方について
→予算執行の問題を追求し、今後の予算執行の是正を求める。
- ①④在宅医療・介護連携推進事業について
→医師会と連携したワンストップ窓口の設立について提案する。次年度設立に向け動き始める。